

この資料は、令和7年度中学校教科書の内容解説資料として、
一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則っております。

保健体育の学習を通して、生徒たちに受け取ってほしい大切なことがたくさんあります。
毎日の生活に深く関わる保健体育の教科書だからこそ、資料や本文、イラストにまでこだわりました。

多様性・共生

年齢や性別、障がいの有無などを超えた
共生社会について考えられます。

ストラックスを着用した
女子生徒



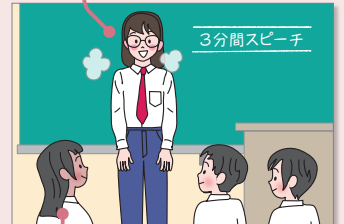
▲p.81 「共に生きる」



▲p.57 「運動やスポーツの
必要性和楽しさ」



▲p.161 体育編3章 章扉



▲p.42 「心と体の関わり」

海外にルーツのある生徒

性の多様性

性の多様性について、
誰もが自分ごととして考えられます。

「新編 新しい保健体育」では、
SOGIEの考えに基づいて
性の構成要素を示し、
性の多様性を表現しています。

SOGIE (ソジー) とは、
好きになる性:性的指向 (Sexual Orientation)
心の性:性自認 (Gender Identity)
社会的な性:性表現 (Gender Expression)
を組み合わせた用語です。

LGBTは性的マイノリティーを指すのに対し、
SOGIEは全ての人に当てはまる概念です。
**だから多数派、少数派と区別することなく、
誰もが自分ごととして考えることができます。**
生徒一人一人が考えを深められる
紙面作りのための、東京書籍のこだわりです。

2 性の多様性

性には「男性」「女性」という「体の性」以外にも、「心の性」や「好きになる性」「社会的な性」など、いろいろな「性のさじ」があります。それは一人一人、少しずつ違ってあり、それぞれが組み合わさって、私たちの「自分らしさ」となっています。

例えば、「体の性」と、「自分は男性である」「自分は女性である」という「心の性」が同じ人はいれば、異性愛者になります。また、自分の心の性と身体的な性に関わりあう人もいれば、異性の人の人に関心をもつ人、誰にも特別な気持ちをもたない人もいます。

このように、性についての私たちの心は、とても多様です。保健体育2章の学習では、心身の機能の発達には個人差があることを繰り返し学んできました。例えば、身長や体重が人それぞれで多様であるように、性にも多様性があり、お互いにその人らしさを認め合うことが大切です。

性の構成要素

- 体の性 (生物学的な性)
- 心の性 (性自認)
- 自分らしさ
- 自分を知る 自分の性
- 生まれたときの 体の性
- 好きな性 (性的指向)
- 社会的な性 (性表現)
- 日常や服装 づかいなど

性の多様性を表現する際、SOGIEという言葉が使われます。SOGIEは性的指向 (Sexual Orientation)、性自認 (Gender Identity)、性表現 (Gender Expression) の頭文字を組み合わせた用語です。

51



性の多様性

◀ p.51 章末資料「性の多様性」

「異性」に限定しない表現

思春期になると、^{せいしよく}生殖機能の成熟に伴って性ホルモ
ンが脳を刺激し、^{とみな}個人差はあるものの、性的なことへの
関心が高まります。異性などほかの人への関心が高
まったり、「相手の体に触れてみたい。」というような
^{せいしゅうどう}性衝動が起こったりします。そのようなとき、自分だ

◀ p.36
「性に関する適切な
態度や行動の選択」



異性などほかの人への関心が強まる